

たぐすい

4

April.2022

第41回 全国豊かな海づくり大会兵庫大会まであと **7** ヶ月



須磨浦山上の桜（神戸市須磨区）

特集 浜の活力再生プラン全国優良事例

新連載 海からのマナザシ

CONTENTS

- | | | | |
|---|---|----|-----------------------------|
| 2 | 特集 浜の活力再生プラン全国優良事例 | 6 | ようそろ |
| 4 | 第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会
大会公式ポスター完成
大会テーマソング完成記念イベント | | なざさ信漁連坊勢支店 還付金詐欺を未然防止 |
| 5 | 豊かで美しいひょうごの海をめざして
活動報告会 | 7 | 兵庫JCC通信 |
| | | 8 | 海からのマナザシ |
| | | 10 | 旬に想う
SEAT CLUB オンライン料理教室 |

水産庁長官賞

『さわら「極」』をブランド化 徹底した品質管理で販売単価向上

杵岐東部地区 地域水産業再生委員会 (JF杵岐東部)

鮮度管理のガイドラインを作成

一本釣りの中堅漁業者らが中心となり、「さわら『極』部会」(会員17名)を設立。「釣り上げてから出荷までのガイドライン」を作成し、漁業者一人ひとりが実践するとともに、良質なサワラのみを「杵岐さわら『極』」としてブランド化。品質劣化が発生しやすいサワラを高付加価値化することに成功した。

出荷ごとに魚市場や仲買業者の評価や指導を受け、ブランド魚の厳選やガイドラインの更新を行う。地域が一体となりブランドを育成し、品質向上した結果、販売単価が向上した。

さらに、県外の流通先に出向き、ブランド化への取組の説明とPR活動を行い、販路開拓につなげた。

カキ養殖で地域の雇用を確保

海女の漁期が5～9月に限られていたことから、漁協がカキ養殖を開始し、海女を雇用することで地域の雇用創出と所得向上に大きく貢献した。

また、台湾や中国内陸部などに販路開拓。ふるさと納税の返礼品やゆうパックにも登録され、安定的に出荷販売できる体制の整備を図った。



さわら「極」部会



市場への売り込み



カキ出荷作業



浜プラン詳細

全漁連会長賞

食育・魚食普及活動を推進

境港市 地域水産業再生委員会 (JF鳥取)

保育園・幼稚園で体験交流を進める

漁港・市場を中心とした地域の活性化、漁業所得の向上に向けて、食育・魚食普及活動を推進。幼稚園・保育園の園児を対象に「カニ集会」「マグロ集会」「銀ざけ集会」「中野港沿岸漁師と園児の交流会」等を実施。

「カニ集会」はベニズワイガニの勉強会として、カニ(紙)芝居、茹でガニの実演、食べ方の動画視聴、試食を実施。「中野港沿岸漁師と園児の交流会」では小型底びき網の漁獲物水揚げ見学、魚の仕分けの体験、魚の方法の紙芝居、水揚げの様子の動画を視聴した。



交流を深める漁師と園児



魚食普及活動



カニ集会の様子



浜プラン詳細

全漁連会長賞

特産のタコをブランド化

上島地区 地域水産業再生委員会
(JFえひめ 弓削・魚島・岩城生名支所)

経産省「The Wonder 500」に選定

漁協女性部が特産のタコをブランド化しようと、済美高校と協同し、「蛸としめじのアヒージョ」を商品化し、「The Wonder 500」に選定される。県内外で広く販売促進し、魚島の知名度が向上し、来訪者が増加した。



高校生と商品開発

鮮度の保持方法を改善

少量多品種の漁獲物の新たな流通ルートの開拓を試み、大手回転寿司チェーンと、定置網の「一船買い」の年間契約を締結。漁業者の所得向上に貢献した。

岩城生名地区では藻場の保全・再生活動に注力。



貝殻基質の製作の様子



浜プラン詳細

農林水産大臣賞

漁業支援アプリを導入し持続可能な水産業を推進

下関おきそこ 地域水産業再生委員会（山口県以東機船底曳網漁協）

デジタル技術で漁労の負担を大幅に軽減する

水産大学校と連携して漁業支援アプリケーションの導入・活用を図り、操業の効率化や漁業の現場の生産性向上、適切な資源管理を実践した。

全船にタブレットを導入し、漁獲情報などを入力。操業中にいつでも漁獲量や水揚げ予想金額、位置情報が確認できるほか、漁獲成績報告書を簡易・迅速に提出することが可能となり、これまでの“勘”に頼る漁業から脱却して、技術の負担を大幅に軽減することができた。

また、沖で獲れた魚種や数量、帰港時間をアプリを通して競り前の市場や資材会社に送付することで、市場側の受入れ態勢が迅速化され、市場関係者の作業の負担も軽減。

水揚げ日本一のおんこうをPR

生産者、市場関係者、観光業者、行政などで構成する「下関漁港沖合底びき網漁業ブランド化協議会」が中心となり、水揚げが日本一にもかかわらず産地としての知名度が低かったおんこう等のPRに注力し魚価の向上を図った。

「下関おんこうフェア」「おんこう学生料理グランプリ」の開催、おんこう料理店マップの作成、高校生の調理実習への食材提供など幅広い内容の活動を展開し、地元の水産物の知名度アップに貢献した。



漁業操業支援アプリ



タブレットで入力



おんこう学生料理グランプリの様子



下関おんこうフェアの様子



浜プラン詳細

水産庁長官賞

漁獲物の出荷方法を改善 高鮮度化して魚価向上を実現

母島 地域水産業再生委員会（JF小笠原母島）

漁業収入の向上へ様々な取組を行う

漁業収入を向上させようと、再利用可能な漁業資材の積極的な利用や出荷方法の改善による漁獲物の高鮮度化、新たな漁法の開発や漁場の開拓、水産物の価値向上による島内消費量の拡大などに取り組んだ。

アルミ製の魚箱にスチロール板を組み合わせる

輸送に使う木製魚箱は再利用すれば製作費よりも返送費用が高いため、軽量で折り畳み可能なアルミ製の魚箱を独自に導入。返送費用を圧縮し、経費削減に努めた。

しかし、アルミは保温性に弱いため、簡易なスチロール板を組み合わせて活用したところ、市場で評価されて魚価が上昇。漁業所得向上につながった。

地産地消で漁業の存在価値を高める

島民から、地元の水産物を求める声が多くあり、大型魚を同漁協においてサクや切り身に1次加工し、島内で消費しやすい形態にすることで地産地消を推進した。

さらに、民宿の食事にも提供されるようになり、観光資源として活用され地域の観光業界の発展にも貢献した。こうして島内での消費量の拡大ができた。



アルミ製魚箱とスチロール板



折りたたまれたアルミ製の魚箱



地魚を1次加工品して販売



浜プラン詳細

第41回 全国豊かな海づくり大会兵庫大会 ～御食国ひょうご～

(第41回全国豊かな海づくり大会兵庫県実行委員会)

大会公式ポスターが完成しました!!

令和4年11月12日(土)・13日(日)に明石市で開催する「第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会(御食国ひょうご)」を県内外に効果的にPRし、機運醸成を図るため、大会公式ポスターを作成いたしました。
「全国豊かな海づくり大会」は、水産資源の保護・管理と海や河川・湖沼の環境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて、水産業の振興と発展を図ることを目的に、毎年各地で開催されている国民的行事です。

兵庫県で開催することを機に、豊かな海の再生に取り組む本県の姿や兵庫五国の豊かで多彩な魅力を全国に発信していきます。

ポスターのデザインコンセプトについて

兵庫県を代表する水産物で兵庫県の地形をかたどっています。いきいきとした水産物で兵庫県が埋め尽くされることにより、「陸での海づくりの活動」が「海の豊かさ」に繋がっているさまを表現しています。



大会テーマソング「いのちをつなぐ^{あお}碧い海」 完成記念イベントを実施しました



植村花菜さんコメントVTR



大会キャラクター「はばタン」と集合写真

3月27日(日)、神戸市立須磨海浜水族園で、令和4年11月に明石市で開催する「第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会(御食国ひょうご)」の大会テーマソング『いのちをつなぐ^{あお}碧い海』の完成記念イベントを行いました。

テーマソングは、兵庫県川西市出身のシンガーソングライター植村花菜さんに、一般から応募のあった341件の歌詞フレーズからインスピレーションを得て、制作いただきました。

イベント当日は、萬谷兵庫県農政環境部農林水産局長の主催者挨拶の後、兵庫県漁連の突々専務理事が司会の清水兵庫県広報専門員とのかけ合いにより、大会PRを行いました。続いて、植村花菜さんからのビデオメッセージ及び大会テーマソングを披露しました。植村花菜さんからは、「テーマソングを通じて、豊かな海について多くの人に知ってもらい、興味関心を持って欲しい。ぜひ、みんなで一緒に歌って欲しい。」とテーマソング制作に込めた思いをコメントいただきました。最後に、大会キャラクター「はばタン」と参加者によるじゃんけん大会を行いました。

テーマソングは近日中に、大会公式HPでも公開予定です。ごうご期待ください。

海下の海をいわれる「藻場」は、生き物を育む大切な場があるほか、地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンとしても注目されています。藻場を作る海藻類や海草類はどのような生物であるのか、環境省プロジェクトによる県内の藻場分布調査の結果や今後の課題についてお話しさせていただきます。



1 播磨灘・相生湾を生物多様性が豊かな海に蘇らせる取組

相生湾自然再生学習会 代表 松村晋英

海のゆかりで「アモモ」の再生と兵庫県産海藻類ブランド「塩生納めシボ」の保護活動や、親子で楽しめるハゼ釣体験、藻場アートについて発表。プラスチックごみ問題についても話します。

2 砂浜をより豊かに〜須磨海岸での令和3年度里海の取組から〜

須磨里海の会 会長 吉田裕之

須磨海岸をフィールドに、砂浜生態系の再生保全活動、環境学習イベントや大阪湾いももの一斉調査など各種活動についてご報告。今後の展開についてもお話しします。

3 緑色のマイクロプラスチックの経路を調べる

兵庫県立尼崎小田高等学校 サイエンスリサーチ科

本校の研究により着や川では緑色のマイクロプラスチック(以下MP)が多いことが判明。その原因はなんと空欄マット(人工芝)!? どうやって川へ流れていくのか? 他の色より緑色のMPが多いのはなぜか。これまでの研究成果を報告します。

4 海洋環境の保全と未利用資源の商品化

兵庫県立倉住高等学校 海洋科 学 習 部 アクアコース・シーフードコース

県内唯一のラムサール条約登録地(丹山川下流域)で生息する魚類についての調査結果と居住や竹野での海岸清掃活動を発表。瀬戸内海で漁師さんを出らせているカルトドエイの魚種の研究結果についてもご紹介いたします。

5 豊かな海を目指して〜今、そしてこれからの取組〜

明石浦漁業協同組合 代理理事長 長 我本裕明

皆さんは「海産物(こうりゃく)」や「ため池(ためいけ)」って知っていますか? どちらも美味しい魚介類が育つ環境を作るための活動です。本当に豊かな海とは何か、皆さんと一緒に考えてもらうための動画を制作しました。ぜひご覧ください!

6 ひょうごの地産地消プロジェクトを通じた食文化の継承と地産地消の普及と取組

生活協同組合コープこうべ第6地区本部 マネジャー 青木隆

地元でとれる魚が一番うまい! 「ひょうごの地産地消プロジェクト」通称とればち、JF兵庫漁業と協同組合間協働で進めている地産地消の取組を報告します。

[会場参加申込] Google フォームでお申し込みできない方は、下記の申込書に必要事項をご記入の上、メール(mizutaki@pref.hyogo.lg.jp)でお申込みいただけます。

Registration form with fields for name, address, and email.

問い合わせ・申込先

兵庫県 環境部環境管理課 水産水産課
TEL: 078-341-7711(内線3385)
E-mail: mizutaki@pref.hyogo.lg.jp



〈活動報告〉

神戸大学内海環境教育研究センター
特命教授 川井浩史

- ① 相生湾自然再生学習会議
- ② 須磨里海の会
- ③ 兵庫県立尼崎小田高等学校
- ④ サイエンスリサーチ科
- ⑤ 兵庫県立倉住高等学校海洋科
- ⑥ アクアコース・シーフードコース
- ⑦ 明石浦漁業協同組合
- ⑧ 生活協同組合コープこうべ第6地区本部

〈基調講演〉

「ひょうごの藻場生態系の現状と課題」

- (5) 内容

〔後援〕環境省近畿地方環境事務所

ひょうご環境保全連絡会
(公社)瀬戸内海環境保全協会
(公財)ひょうご環境創造協会

ひょうご環境保全連絡会

〔主催〕ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会

- (4) 主催等 「主催」兵庫県

- (3) 参加人数 83名(会場・オンライン)

- (2) 実施会場 ラッセホール(神戸市)

- (1) 実施日時 令和4年3月17日(木) 13時30分~16時30分

- 〈概要〉

(ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会)

活動報告会を実施しました!!

豊かで美しいひょうごの海をめざして

ひょうご豊かな海
発達プロジェクト協
議会では、豊かな海
づくりへの県民への
理解と参加を促すた
め、毎年活動報告会
を実施しています。
今年度は「ひょうご
の海をもっと豊かに」
をキーワードに、魚
のすみかを守る活動
海ごみ対策、ひょう
ごの地魚の美味しさ
を広める活動など、未
来のことを考え、行
動している皆さんか
ら各取組について報
告がありました。



会場の様子

第41回 全国豊かな海づくり大会兵庫大会~御食国(みけつくに)ひょうご~
作品コンクール(作文・絵画・習字)を実施します!!

(第41回全国豊かな海づくり大会兵庫県実行委員会)

令和4年11月12日、13日に開催する第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会の行事の一環として、次代を担う児童・生徒に大会の開催意義や海の恵み、環境保全の大切さを広く理解していただくために、「海」「川」「森」「水産業」をテーマにした作品コンクール(作文・絵画・習字)を実施します。

募集期間: 令和4年4月1日(金)~6月3日(金) ※事務局必着

対象: 兵庫県内の小学校~高等学校に通う児童・生徒

募集部門: 小学校低学年の部(1年生~3年生)
小学校高学年の部(4年生~6年生)
中学校の部
高等学校の部【作文のみ】

応募方法: 学校を通して応募してください。

その他: 優秀作品には表彰を実施するほか、応募者全員に記念品を贈ります。

※詳しくは大会公式HP (<https://hyogo-yutakanaumi.com/news/info/105>)
をご確認ください。



沿岸漁業の応援団

もと水産大学校理事長 鷺尾 圭司

京都市に生まれ、小学校時代には「たこ」というあだ名で通っていた。元をたどれば、水泳が得意だったが、軟らかい髪質でプールから上がってくる「タコ」がワカメを乗せてきた」と笑われたから。なぜかしら水産学を学び、引き寄せられるように明石を訪ね、気がつけば林崎漁業協同組合の職員になっていた。30歳の時である。図書館で井上喜平治さんの「蛸の国」を読んだ、明石の海に惹かれたことを思い出した。

しかし、漁協職員になってみて、京都での学生時代のイメージだった「明石ダコ・明石ダコ」が主産物かと思いきや、海苔とイカナゴが主力とは！ 大学で習ったことは通用しないと自覚し、浜の先輩に教えを請う日々。

ある日、沖でノリ網を回収する作業を手伝わせてもらった。素人だから作業のテンポが遅れがち、全力で頑張って網を引き上げ続け、ようやく完了して達成感に浸った。内心「頑張った」とほめてもらえると思っていたが、頭をはたかれた上「海で十割の力で仕事をしたらあかん、仕事は七割で、三割は命のために残しておくものだ」とたしなめられた。「全力集中」が良いことだと思いついていた都会の生き方に、目からウロコがとれた瞬間だった。

漁協職員として結局17年も世話になったのは、「歩み寄り」と分かち合い」という協同組合精神と、こうした生きる知恵に共感したからだ。青年部や女性部の皆さんと協力してイカナゴやノリの普及を図ったことや、県漁連や商店街、生協などの皆さんとのコラボも楽しい思い出になりました。

その後、京都精華大学の教員として「海の問題と漁業」を考え、下関にある水産大学の役員として水産教育の応援団をさせていた間も、明石の海が目につかび、潮流にもまれた海の幸の味が忘れられずにいた。各地の伝統食品を研究し、海の幸の売り方を研究するのが励みにもなった。

このたび「拓水」誌に寄稿させていただけることになり、これからも水産世界の面白さと生き方を発信し、漁業の社会的地位向上を目指したいと思えます。



林崎漁港にて

なぎさ信漁連坊勢支店

還付金詐欺を未然防止

(なぎさ信用漁業協同組合連合会)

なぎさ信漁連坊勢支店窓口を訪れた顧客(60代女性)の様子を不審に感じ、声をかけ特殊詐欺の被害を未然に防止したとして窓口担当の竹中摩紀さんと桂友紀子さんに兵庫県飾磨警察高山署長より感謝状が贈られました。

同日窓口を訪問した顧客が、「昨日、この男性職員を名乗る人から電話があり、高額医療の還付金の振込があるから、通帳とキャッシュカードを持って来てください」と言われた。」とのことであった。

窓口担当の二人は、キャッシュカードと通帳のセットと不審に思い、電話内容について本人から聞き取りを行いました。

前日の午後4時半頃に国民健康保険課より、「高額医療の還付金があるので振込口座の指定をして下さい」と電話があり、自身が数か月前に入院し、高額医療の申請をしていたこともあったため、何の疑いもなく、信漁連坊勢支店を還付の口座に指定したとのこと。

その後、坊勢支店職員を語る男性から電話があり、通帳とカードを持って支店のATMに来るように言われたが、日頃より窓口で取引を行っている顧客であったため、窓口に来店したことから、職員の機転により被害を未然に防ぐことができました。



左から 桂友紀子さん、竹中摩紀さん



飾磨警察高山署長から感謝状が手渡される

その後、窓口職員は、同じような被害があつては困ると考え、坊勢駐在所に注意喚起をお願いし、島内放送等にて特殊詐欺にかかる注意喚起を行いました。

なぎさ信漁連では、昨年の津居山営業店同様、こういった特殊犯罪が身近に発生していることから、定例的な研修を積極的に実施し、被害の未然防止に努めております。

特別定額給付金に関するお知らせ



給付金のサギに注意!!

(詐欺)

絶対に教えない! 渡さない!

- 暗証番号 ●通帳 ●マイナンバー
- 口座番号 ●キャッシュカード

市区町村や総務省などが以下を行うことは絶対にありません

- × 現金自動預払機(ATM)の操作をお願いすること
- × 受給にあたり、手数料の振込みを求めること
- × メールを送り、URLをクリックして申請手続きを求めること

「怪しいな?」と思ったら遠慮なく相談ください

消費ホットライン 188

お住まいの市区町村

新型コロナウイルス給付金関連消費ホットライン

お近くの警察署

0120-213-188

警察相談専用電話 #9110

総務省 給付金 投資 税務省 消費庁 警察庁

同じような被害があつては困ると考え、坊勢駐在所に注意喚起をお願いし、島内放送等にて特殊詐欺にかかる注意喚起を行いました。

畜産クラスター事業を活用し、 農業生産の拡大と循環型農業に取り組む

JAハリマでは、繁殖・肥育牛等の生産拡大へ向けて、地方公共団体などの関係機関と連携した畜産クラスター事業等の補助事業により、組合員の牛舎設備とJAの堆肥センターを改築し、飼養頭数の増加に取り組んでいる。

JAハリマ地域の最北部に位置する宍粟市波賀町の「岸本牧場」では、岸本壮弘さんが父親とともに牛の繁殖・肥育を手掛けている。岸本さんは、祖父の代から続く牧場を引き継ぐことを決意し、3年前に就農した。現在、繁殖牛84頭、肥育牛60頭を飼育する岸本牧場は、2018年に牛舎を増築して飼養頭数を大きく増やした。牛舎増築を支援するため、JAハリマ経済部一宮営農経済センターの石原聖也さんをはじめ、JA、県・市など関係機関と連携し、国庫補助事業・畜産クラスター事業の活用に取り組んだ。

石原さんは5年前から畜産業務を担当しており、畜産農家を巡回して子牛の出生から登録、販売まで幅広くサポートを行う。岸本さんは、「就農したときから関係のあるJA職員であり、こまめに牛舎を訪れてもらえるため何でも気軽に相談できる関係だ」と話す。

また、JAハリマでは、4年前に同クラスター事業を活用して堆肥センターを改築し、畜産農家から持ち込まれた牛糞を原材料として製造した堆肥「ネオコンポ」の普及によって耕畜連携による循環型農業を提案している。

JAハリマは、今後も地域一体となって農業生産の拡大と循環型農業の普及に取り組む。



子牛の鼻紋採取を行う岸本さん(左)と石原さん

<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

新しい気持ちで、コロナ禍での活動に チャレンジしています

阪神医療生活協同組合は、コロナ禍になりいったん全てのグループ活動を中止しましたが、組合員と一緒に「本当にこれで良いのだろうか」、「何か出来ることはないか」と相談をし、ラジオ体操やウォーキングなど屋外で行う活動を再開しています。合計12ヶ所で定期的に開催することができ、おうちで健康チャレンジも実施しました。

マスク着用、消毒の徹底、ワク



チン接種など、これまでの感染予防対策は、個人差はありますが比較的違和感なく導入できました。その一方で、あまり経験したことのない「密の回避」。人と会わない、近くで話さない、一緒に食事しない…。仕方がない反面、まさしく生活協同組合が大切にしてきた人と人とのつながりづくりと真逆の方針と言えるものでした。

収束と拡大を繰り返し、現在は第6波まで来ました。「こんなものに負けてられるか〜!」という気持ちで、遠足や屋外ゲーム大会、ドッジボール大会やハロウィンパーティー、青空健康チェックなど、少し収まってきた時期には花見、バス旅行などにも例年とは異なる新しい気持ちでチャレンジしています。

これからも「強要せず、希望される方が無理せず参加で



きるように」、人と人の「温もり」や「温かみ」が感じられるリアルで優しい場を協同の力で求め続けていきます。

<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>



須磨浦山上の桜(神戸市須磨区)

標高246mの鉢伏山から旗振山にかけて広がる須磨浦山上からは、緑豊かな自然と大阪湾、播磨灘、明石海峡大橋、淡路島等360度の大眺望が楽しめます。須磨浦公園は「こうべ花の名所」にも選ばれる桜の名所で、春には約3200本の桜が公園を彩ります。その中には、「普賢象」というサトザクラの変異種「須磨浦普賢象」も楽しめます。



海からのマナザシ

瀬戸法改正とその後の課題

もと水産大学校理事長 鷺尾 圭司

皆さま、お久しぶりです。20年ほど前まで林崎漁業協同組合の職員としておりました鷺尾圭司です。大学での水産人育成や魚食普及の仕事を一段落し、ふたたび水産現場に足を運べるようになりました。今回から本誌に「海からのマナザシ」という連載を始めさせていただきます。兵庫の海の幸を育む海の環境問題、漁業経営の課題、消費地での水産物の評価や需要、世界で取り組まれるSDGsとの関連など、コロナ禍の時代にも通じる漁業の姿を考えていきたいと思っています。

昨年6月、瀬戸内海環境保全特別措置法の改正に伴って「栄養塩類管理制度」が設けられ、ようやく「豊

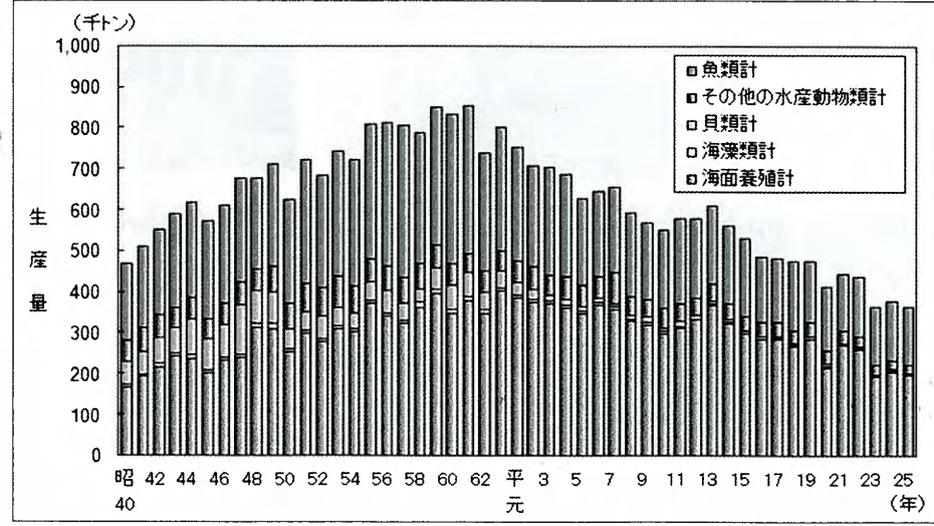
かな海の再生」という漁業者の願いに向けた動きが始まる場所です。ところで「豊かな海」というのは「どのような海」でしょうか？昭和60年ごろの水揚げ高が一番多かったころのイメージでしょうか、あるいは昭和40年以前の「白砂青松」「貝の湧く海」といわれた昔の瀬戸内海のイメージでしょうか。人それぞれに、また任んでいる地域によって、あるいは立場によって「豊かな海」の姿は異なっているようです。瀬戸法の改正に至る議論にも様々な意見がありました。

十年前までは、大阪湾や広島湾の奥部や港湾区域を見ている人たちからは「まだまだ海は汚れていて、き

れいにする水質規制は重要だ」と、魚類養殖を営む人たちからは「赤潮の心配があるから栄養塩類は少ない方がよい」と、海のレジャーを楽しむ人たちから「海がきれい何かが問題だ」などという主張がある中、ノリ養殖などの藻類養殖やイカナゴ漁やタコ漁に携わる人たちからの「海がやせて、貧栄養化が行き過ぎている」という声は少数意見でした。

数年前からイカナゴの不漁による異様な高値を見たり、ノリの色落ちの評判に耳を傾ける人が増えたり、

瀬戸内海における漁業生産量の推移



せとうちネットより
富栄養化による生産量の増加には貝類も寄与しましたが、平成以降の貧栄養化局面では貝類が壊滅していきました。

各地の水産物の不漁が重なって、ようやく環境省の検討会の中にも貧栄養化問題が取り上げられるようになりました。この世論の変化には、兵庫漁連や兵庫県立水産技術センターなどの資料づくりやパンフレットが大きな力になりました。

異様な高値を見たり、ノリの色落ちの評判に耳を傾ける人が増えたり、

『新瀬戸内海再生法』の整備に向けて

かつて 瀬戸内海は 宝の海だった

瀬戸内海関係漁連・漁協連絡会議



かつて瀬戸内海は宝の海だった(2012年6月)
(瀬戸内海関係漁連・漁協連絡会議 発行)

また、明石市の下水処理場が30年あまりも目の前のノリ漁場との共存を図るため、様々な試行錯誤を経た栄養塩管理の先行事例を積み重ねてきた努力も、欠かせない取り組みで全国的にも注目されました。この中には、下水処理水の殺菌に使う塩素消毒が海の生物に悪影響を及ぼす可能性を軽減するための「海水混合」による排水の希釈措置や、大久保浄化センターの「紫外線滅菌処理」、そして二見浄化センターの「栄養塩管理運転」などがあり、継続した監視調査でモニタリングが重ねられてきたことも上げられます。

新たに設けられた「栄養塩類管理制度」は、こうした下水処理場などの取り組みにとどまらず、漁場への直接的な栄養添加を含めて海域の貧栄養化を緩和する可能性を探るものです。しかし、海域によっては少しの栄養付加でも赤潮など水質悪化につながることもあれば、大幅な添加を試みなければ栄養不足は改善できないところもあり、海域の用途と合わせて検討しなければなりません。

これまでの制度では、瀬戸内海一律に規制する方式でしたから、大阪湾の奥も播磨灘の潮通しの良いところ

も同じ規制がかけられていました。これでは問題の解決につながらないことから、湾や灘の特性に合わせて個別に協議する方法が設けられました。これが「湾灘協議会」です。各海域の利害関係者を広く集め、その海をどのような姿にするのか知恵を絞ろうというものです。

しかし、残念ながら湾灘協議会の設置はあまり進んでいません。環境省は各府県に任せようとするし、各府県は自分の管轄海域しか考えません。複数府県にまたがる湾や灘を一体として考える土俵がなかなか出来ないのは、多様な利害関係の調整が面倒くさいからなのでしょう。漁業現場の大事な検討課題を棚上げにさせないよう、まだしばらく苦労は続くと思います。

今期待していることは、外圧です。国連が提唱しているSDGsという



谷八木川における海水混合施設

大久保浄化センター(下水処理場)の排水が流される谷八木川の河口部で海水をくみ上げて混合させ、処理水を半分以下に希釈して海への影響を緩和させている。

2030年に向けた目標にある海の環境を守ることや、生物多様性条約のもとめる海洋保護区の拡大など、わが国の海域管理の在り方が国際的に問われることが増えてきます。そうした外圧に説明責任を果たすためには、関係する海域の将来像を共有して対策を記録していく必要がある、その点で湾灘協議会のような仕組みが意味をもつてくることが期待されます。

◆ドイツの詩人が書いた小説「青い花」は主人公が夢に見た青い花を求めて遍歴する話で、青い花が人の憧れを表す言葉として使われており、昔から「青い薔薇」は「不可能」の意味だったようだ。しかし、古くから青いバラを作ろうと努力している。本来バラには青い色素が無く、無いものねだりから始まった事のように。沖繩で紺碧の海を見た時、その神秘的な青色には想像を絶する素晴らしい事が起きそうな気がして非常に感動した。植物界に青い花は少ない。三大切り花というバラ・キク・カーネーションも青色が無い。そこでベチニユアの色素を使い遺伝子組換えで青いカーネーションが生じた。この画期的な技術を生かして青い薔薇を作ろうと、知識を寄せ合い研究が始まったのだ。...

◆バラとは通常は園芸品種の洋バラをいう。種類は非常に多く原種に複雑な交配を施して改良、多くの園芸品が作出され大きく12系統に分けられている。専門的にはもっと細かい分類がある。薔薇の新しい品種を求める育種家は古くから在って、日本では鈴木省三氏が著名だった。氏は青い薔薇を目標とはされなかったが、青い薔薇は自然界に無いため多くの育種家が挑戦を続けた。そして複雑な交配を経て一九四四年に青薔薇の第一号《グレイパール》が作られたが、青というよりも藤色カラベンダー色に近いものだった。交配の親となったカーディナル・ド・リシユールが、青い薔薇の元祖だとも呼ばれている。

◆青い薔薇の作出は難しく、青い色素の遺伝子組換えだけでは、花卉に青色は発色しないという。何度も複雑な交配も重ね、青の限界へと挑戦を始めて、膨大な資金と時間が掛かったが、二〇〇九年にア



新子漁 (淡路島)

プロローズという名で「青い薔薇」が売り出された。喝采という意味を持ち一本3千円の値がついた。青色に近い淡い青紫色で、青空のような青には今一步の感じだった。科学技術を応用した一つの成果とはいえる。未知のものへの憧れは、我々の夢の実現でもあった。

◆遺伝子組換えで青い薔薇が誕生しても、生態系への参入は外来生物の闖入と大差がないだろう。人間は自然に手を加えて都合の良いように植物や動物を改良して来た。四季に関係なくトマトや胡瓜が食べられるし、美味しい米も改良したお陰である。遺伝子組換えを否定する気持ちは筆者には無いが、通称カルタヘナ法「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」で、栽培や流通が規制されている。青い薔薇が本当に美しいかといえば違和感を持つているのは確かである。因に「薔薇色」とは鮮やかな赤のことをいう。

オンライン料理教室

ひょうごのお魚ファンクラブ
SEAT CLUB

ご自宅にいなから料理教室が受講できるオンライン料理教室を開催中です♪

受講に必要な材料はすべてこちらからお送りさせていただきますので、お気軽にご参加ください♪

5/14のテーマは、、、鯛の塩釜焼きです!!

※塩釜を焼く際にオープンを使います。

作ってみたいけど、難しそうに思われがちな塩釜焼きですが、実は失敗が少なく、誰でも簡単に作る事ができます♪塩釜の効果で、鯛にじっくり火が通り身がしっとり焼き上がります!! 下処理済みの鯛を真空パックしたものをお送りします!

☆メニュー☆

- ・鯛の塩釜焼き
- ・オランダソース (野菜もお送りします)

【5月開催日】

5月14日(土)15:30~16:30

→お申し込みはシートクラブHPから!

料金:2,500円 / 定員:8名様

※終了時間が状況により前後する場合があります。



HP



SEAT CLUB
Instagram

